

雨風に耐えて鍛えて幸せの花を育てん

「主体的・対話的で深い学び」を通して



岡崎市民駅伝競走大会選手激励会

1月17日(金)14:30~15:00



市民駅伝競走大会 選手激励会

開会の言葉
活動紹介
駅伝部登壇
選手紹介
駅伝部員の決意
応援団激励
校長先生挨拶
閉会の言葉

駅伝部員の決意

僕たちは、9月からこれまで、駅伝部として活動してきました。体力づくりのため、と思って入った駅伝部が、今ではとても楽しく、走ることが好きになりました。練習の中でのライバルが生まれ、競い合うことや走ることを楽しむことができました。毎日の練習で、心で走ることの大切さを実感することができました。努力を続けることで自信が付き、胸を張って生活できる、ということがわかりました。お互いを励ます、応援の力の大きさや大切さを感じることができました。長距離は、すぐに結果が出なくても、続けた分だけ結果がついてくるので、大好きになりました。苦しい練習にも、タイムが伸びていく喜びを目指して、乗り越えることができました。私は辛い練習が嫌でした。でも、このメンバーで励まし合い、挑戦できたからこそ、前向きに乗り越えることができました。辛くて逃げ出したくなった時に、「もう少しだけ頑張ろう」と思えたのは、仲間が存在があったからです。「一人では耐えられないことも、仲間がいれば耐えられる」ということを実感した駅伝部の活動でした。「自分が苦しい時は仲間も苦しい」、この言葉に支えられ、仲間とともに、ここまでくることができました。どんなに辛くても、きつくても、周りの仲間と声を掛け合い、励まし合ってきました。先輩として「背中の後輩に伝える」ということを心掛け、常に自分の限界に挑み続けてきました。どんなに苦しく、しんどい時にも、走り終わった後に、仲間とかけ合う「ナイスファイト」の声やハイタッチは、明日も頑張ろうと思える最高のエネルギーに変わりました。3年間駅伝部を続け、タイムがあがりました。「努力してきたことは必ず力になる、そして、無駄にはならない」ということがわかりました。今までやってきたことを大切に、これからも、辛いことから逃げない意志を貫きたいです。市民駅伝では、今年で、駅伝部は最後ということを中心に刻んで、一步一步を大切に、最後まで全力で走ります。額田中のタスキを、スタートからゴールまでつなげる架け橋になれるよう、頑張ります。1年生の代表として、駅伝部の代表として、そして、学校の代表として悔いのない走りをしてきます。全員の思いをつながられるように、一秒でも速く仲間のもとにタスキを届けます。額田中駅伝部として、最後という自覚と誇りを胸に戦ってきます。声がかかるくらい大きな声で、他の学校には負けない声援を送ります。挨拶やマナーで、必ず優勝してきます。今まで支えてくれた家族、先生、駅伝部のみんなのためにも、全力で走り切ります。3年間続けた駅伝部の、自分にとってもラストの駅伝を最高のものにしていきます。額田中駅伝部最後のレースのアンカーとして、これまでの先輩や、仲間がつなげてきたタスキに込められた思い、そして出られなかった仲間の思いもすべてを背負って、アンカーにふさわしい走りを行います。



選手を勇気づける応援団の激励



1月17日(金)市民駅伝競走大会選手激励会 校長挨拶

令和2年1月17日(金)の5時間目終了後、岡崎市民駅伝競走大会選手激励会を実施しました。校長挨拶で次の話をしました。「駅伝部員の決意は立派。応援団の激励も最高。駅伝部を額中生、額中職員みんなが応援しています。自分のため、額田中学校のため、そして、自分を支えてくれた多くの人への感謝の気持ちをこめて、走り抜いてください。2020年の漢字は『幸』です。辛いに1本の線を加えて、タスキをつないで、幸せの花を咲かせましょう」

額田中にとって最後の岡崎市民駅伝競走大会 1月19日(日)

男子32チーム中21位1時間48分12秒（昨年度37チーム中26位1時間48分44秒）32秒記録更新
 女子32チーム中32位 51分47秒（昨年度36チーム中36位 52分03秒）16秒記録更新
有終の美を飾った額中駅伝部 多くの人の支えに感謝の気持ちをこめた力走に感動



7:45中総に集合 ゼッケンの配付



3年生から1・2年生にメッセージ

各中継点へマイクロバスに乗って出発



1区の選手のスタートの準備



10:00スタート



11:48 アンカーのゴール



令和2年1月19日(日)、第71回市民駅伝競走大会終了後の記念撮影(「幸せの花」を咲かせた選手とサポートした生徒)

額田中学校は、男子32チーム中1区は26位で2区にタスキをつなぎ、9区は21位でゴールしました。また、女子32チーム中1区は28位で2区にタスキをつなぎ、5区は32位でゴールしました。男子は昨年度26位から21位と順位を上げ、タイムで1時間48分44秒から1時間48分12秒と32秒短縮させました。女子は順位を上げることはできませんでしたが、タイムで52分03秒から51分47秒と16秒短縮させました。

令和元年9月から駅伝部の練習を開始させ、この段階から「額田中にとって最後の駅伝大会」と伝えてきました。3年間駅伝部に所属した3年生が、「2年前に制限時間オーバーでタスキが途切れたことの悔しさを忘れずに努力してきました。額中生、職員の応援でエネルギーをもらい、選手の頑張りで、タスキをつなぐことができました」とレース後に話していました。

駅伝部のC(Challenge)R(Respect)S(Smile)で、額田中学校全体に幸せの花が咲きました。第71回令和2年1月19日の市民駅伝競走大会をもって、額中駅伝部の活動に幕を閉じました。今まで額中駅伝部を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。これからもCRSで額中第2期黄金時代を築く活動を推進していきます。